



2025年11月5日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、LP制作実績が累計3,000件を突破

～圧倒的実績で市場の“完全支配”を証明～



売れるネット広告社グループ、
LP制作実績が累計3,000件を突破

～圧倒的実績で市場の“完全支配”を証明～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である売れるネット広告社株式会社は、グループ中核事業の一つである LP（ランディングページ）制作サービスにおいて、累計 3,000 件超の制作実績を達成いたしました。これは単なる数字ではなく、マーケティング領域における“支配の証”であり、我々が“売れるネット広告社流” D2C 戦略の最前線を牽引していることの明確な表れです。株主・投資家の皆様におかれましては、改めてご期待いただきたく存じます。

【熾烈なる市場を制する“武器”】

売れるネット広告社グループは、2,600 回以上の A/B テストによって体系化された「最強の売れるノウハウ®」を核に、広告運用・コンサルティング事業、AI 関連事業、越境・TikTok 領域、SaaS プラットフォーム『売れる D2C つくーる』展開といった、多層的な成長ドライバーを備えております。本件では、この中核資産を、「売れるネット広告でざいん」（LP 制作サービス）という“成果直結型”チャネルに結実させました。3,000 件突破という実績は、単に量的成長だけでなく、品質・効率・再現性すべてが“勝てる”領域へと到達していることを証明しています。



【市場震撼のチャンス到来】

Web マーケティングおよび D2C・EC の世界では、広告出稿費の高騰、ユーザーの目線変化、プライバシー規制強化など、変化のスピードがかつてなく速まっています。こうした環境下において、LP は「広告の受け皿」から、「顧客を獲得するための“最終兵器”」へとそのポジションを進化させており、事実、各種調査でも LP の重要性が飛躍的に増していることが報告されています。

売れるネット広告社グループがこの転換点を捉え、3,000 件という圧倒的な制作実績を積んだことは、まさに“歴史的号砲”と断言いたします。

【構造的な優位性：なぜ我々が勝つのか】

- ・圧倒的制作数×データ蓄積：累計 3,000 本を超える LP 制作によって、各商材・業界・広告チャネルごとの“売れる構成”データベースを構築しました。これにより、初回から高確度で成果が出る設計が可能です。
- ・ノウハウ+実行部隊の融合：制作体制は、既存広告運用部隊と緊密に連動。運用から得られた“ユーザー行動データ”を即座に LP 改善へ反映し、改善サイクルを高速で回す“永久機関”を構築しています。
- ・シナジー横断力：広告運用事業・AI マーケティング事業・越境 EC 支援事業・プラットフォーム事業といった売れるネット広告社グループの多様な成長ドライバーが、LP 制作サービスのアップセル・クロスセル・顧客維持を強力に後押し。3,000 件という実績は、これら全体戦略の“一点突破”として機能しています。
- ・防御不能な堀の構築：単なる LP 制作ではなく、「売れるネット広告社流」の再現性高い結果出しモデルが根付いており、競合他社が模倣不能な“実行+改善+運用データ”のセットとなっています。



【今後の展望】

短期的には、2027年度末までにLP制作件数を5,000件まで拡大し、1件あたりの平均売上額および改善導入率の向上によって、“ストック化可能な収益モデル”へと移行を加速します。中期（2028年度）においては、LP制作を起点にした『売れるLP+広告運用+AI改善支援』のワンストップ化サービスを、深化させ、“最強の集客ダイナミクス”をグループ内に確立します。さらに長期的（2030年度以降）には、国内のみならずアジア・北米市場において、売れるネット広告社グループが培った“売れるLP設計モデル”をグローバル展開し、マーケティング業界における“新たなルールそのもの”となることを目指しております。

なお、本件は2026年7月期の売れるネット広告社グループ連結業績にプラス寄与見込みです。

株主・投資家の皆様、この瞬間から変わる市場の波を、ぜひ我々と共に捉えてください。我々はただ記録を更新したわけではありません。“3,000件”という壁を突き破り、次代の勝ち筋を手織り寄せているのです。これが、売れるネット広告社グループの“歴史的転換点”です。次に来るのは“爆益”への波です。その目に焼き付けてください。そして我々と共に、まだ見ぬ“爆益の未来”を掴み取りましょう。

以上